

## 平成 25 年度 第 2 回 CCC 体育学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 26 年 1 月 17 日（金）14:00～17:40
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：内山委員，大橋委員，田附委員，來田委員  
（事務局）井畑事務局長，森下，松本

### IV. 資料

- 資料① 平成 25 年度 CCC 体育学グループ運営委員会の活動計画
- 資料② 体育学教育における教育改革モデルへのアンケート結果
- 資料③ 次回までの課題
- 資料③-1 課題に対する原案（「到達目標 4」その他）
- 参考 1 高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方について（第四次提言）
- 参考 2 教授会の権限，4 項目に（新聞情報）
- 参考 3 授業に「タブレット革命」（新聞情報）
- 参考 4 FSP 実践講座の授業内容と運営の工夫（Future Skills Project 研究会活動報告）
- 参考 5 私立大学等改革総合支援事業配点区分表
- その他 平成 25 年度 CCC 体育学グループ運営委員会名簿

### V. 議事内容

- 1. アンケートを踏まえた教育改善モデルの実現に向けた課題について
  - (1) 第 1 回運営委員会におけるアンケート結果の検討にもとづき，主に 4 つの課題について検討を行った。
    - ①到達目標 4 の追加  
原案にもとづき，到達目標 4 に関し，到達目標，目標の説明文，コア・カリキュラムのイメージ，到達度，測定方法の内容および文言を検討し，追加した。
    - ②上記①に伴う体育学分野の提言全体の調整  
第 1 節の解説文，既存の 3 つの到達目標，第 2 節の教育改善モデルについて，到達目標 4 を追加したことによる内容の重複チェックおよび文言の調整を行った。
    - ③「身体運動」「運動」「スポーツ」「競技スポーツ」「スポーツ競技」の用語の見直し  
運営委員会の意図が明確になるよう全体の表現を見直した。なお，アンケートの意見にもとづき，第 2 節「教育改善モデル」において「スポーツ」と「身体運動」を併記する場合には，教材としての用語であることが明示されるよう「スポーツとフィットネスなどの身体運動」とすること，第 1 節では「身体運動」をより広義の概念と捉え，「スポーツ」はこれに含まれると定義して使用すること，を統一した。
    - ④到達目標 1 到達度②の表現について  
前回運営委員会における「到達目標 1 では，身体運動に関する学術的な理解についての実践力を体力の測定評価のみによって位置づけているように見受けられる」との意見に関連し，到達目標 1 の到達度②の表現を見直した。
    - ⑤到達目標 2 の到達度①～⑤に対するアンケートの意見について  
「運動」を「身体運動」に統一したこと，到達目標 4 の追加に伴う調整を行うことに伴って，対応

することができたことを確認した。

⑥前回の議事録にもとづき、修正点の確認を行った。

## 2. 能動的学修の実現に向けた手法の課題

体育学分野においては、分野特性により能動的学修については実践およびその改善の試みが恒常的になされていることから、運営委員会ではこの課題に特化した意見交換は行わないことが確認された。

## 3. 今後の研究の進め方について

新たに追加した「到達目標4」の教育改善モデルの作成に向け、①近似カリキュラムを教育に採り入れている大学や海外のスポーツ関連組織等における事例研究を行う、②事例研究にもとづきモデルの原案を作成する、③提言全体との調整を図るなど原案を精査しモデルを完成させる等の手順で、3回程度の委員会を開催して進めることを確認した。

## 4. その他

次回の運営委員会は平成26年4月19日（土）13:00から開催することを決定した。